

VII. 随想

患者さんは、医師にとって最高の師

大澤 真木子 (立教女学院)



本年は能登半島地震や、羽田空港の事故で幕開け、台湾の地震もあり、多くの方の命が失われ、不自由な生活を送られている方がまだ、多数おられます。てんかん研究振興財団の関係者の中にも被災者がおられるのではないかと懸念致します。心からお見舞い申し上げ、神様のお恵みが豊かに与えられますことをお祈り致します。

医師は、学問としての医学を学びますが、その実践過程を通して「患者さんという一人の方の唯一度しかない人生」に関わることとなり、その医師の「関わりかた」がその方の人生に影響を与えうと思います。また、その逆も真であります。医療的悩みをもって病院に訪れる方、患者さんこそが、医師にとって最良の師であり、患者さんに育てられるというのは私の実感であります。今まで医療的悩みをお持ちの方、支えるご家族の方々との多くの出会いがあり、その方たちに小児科医として関わらせて頂く事を通し、人として、医療人として育てて頂いてきました。

ここでは、かつて私達の医局にいて、そして皆からとても信頼され敬愛されていたある先生が、生前に心のよりどころにされていたニューヨークリハビリテーションセンターの壁に彫られているという詩をご紹介します。

その詩はA Creed for Those Who Have Suffered という題で「悩める人々のための信条」とでも訳されましょうか。

I asked God for strength that I might achieve;

I was made weak that I might learn humbly to obey.

大きなことを成し遂げるために、力を与えてほしい、と求めたのに、謙遜を学ぶように、弱さを授かった。

I asked for health that I might do greater things;

I was given infirmity that I might do better things.

偉大なことができるように、健康を求めたのに、よりよきことをするように、と病を賜った。

I asked for riches that I might be happy;

I was given poverty that I might be wise.

幸せになろうと、富を求めたのに、賢明であるように、と貧困を賜った。

I asked for power that I might have praise of men;

I was given weakness that I might feel the need of God.

世の人の賞賛を得ようと、パワーを求めたのに、得意にならないように、弱さを授かった。

I asked for all things that I might enjoy life;

I was given life that I might enjoy all things.

人生を楽しむために、全ての物を求めたが、あらゆる物を楽しめるように、命を授かった。

I got nothing that I asked for, but everything I had hoped for.

Almost despite myself, my unspoken prayers were answered.

求めたものは、一つとして与えられなかったが、願いは全て聞き届けられた。

心の中の言い表せない祈りは、全てかなえられた。

I am, among all men, most richly blessed.

私は全ての人々の中で、最も豊かに、神の恵みを与えられた。

というものです。

これを読まれて、どう感じられましたか？ 私自身、医師として歩みながら、なす術の無い重症の患者さんの前で、無力感にさいなまれる事もありました。どうしたらその方を慰める事ができるのか、また、一方、仕事仲間がさっさと色々な事をこなしているのに、自分は泥沼の中で 努力しても努力しても一歩も進めない不公平感／みじめさを味わう事もありました。

そんな時、この詩を思い出すことにより、自分が不幸と感じる事も、長い一生の中では自分に与えられた大きな恵みであると感じできました。そのように感謝して受け止める事のできる「しなやかさ、包容力」を持って臨めたら、「怒りや辛さや不満」を、一気に「平穏な気持ち」に変えることが出来るかもしれません。常に謙虚に、感謝の気持ちを忘れずに、一時一時を、そして一つ一つの出会いを、大切に歩む事ができたら、きっとすばらしいとおもいます。私たちは、いろいろなことを一人でこなすことは難しい時代となり、チームの中で調和して行動していくという事が更に求められるようになっていきます。自立する事、周囲と調和する事は大切な事です。さらに自分らしさを活かして、「自立して、調和して、かつ個性的に、そして、ともにエネルギーを与え合って」自己実現を果たしていくことができたならとても幸せです。